

図1 A: 獣脚付有蓋短頸壺 B: 支え (下から拡大して見た図)

# 鯨

いさな

第17号

昭島市郷土資料室  
 〒196-0012  
 昭島市つつじが丘  
 3丁目3番15号  
 アキシマエンス  
 国際交流教養文化棟1階  
 TEL:042-543-1523  
 FAX:042-542-8002  
 (昭島市民図書館共通)

## 奈良時代の歴史を伝える 貴重な資料です！



昭島市郷土資料室  
 公式キャラクター  
 いさなちゃん

昭島市郷土資料室では、昭島の歴史を伝える貴重な資料を展示しています。展示している資料の中には、東京都の有形文化財として指定されている「獣脚付有蓋短頸壺」があります(図1A)。この資料は状態がとても良い須恵器であり、奈良時代のたいへん貴重な考古資料です。

この資料は火葬された人の骨が納められていた「蔵骨器」、いわゆる骨壺です。一九七九年(昭和五十四年)三月に、今の玉川町で下水道の工事中に、石製の入れ物(石櫃)に入った状態で偶然発見されました。発見時の調査によると、蔵骨器の蓋はずり落ちて壊れていましたが、頑丈な石櫃に保護された状態であつたため、全体としては、きれいに原型をとどめています。

壺の底の近く(底部)には、猫の足のような支えがついており(図1B)、これを「獣脚」といいます(モチーフとなった動物の種類は諸説があります)。中国の唐の時代(およそ七世紀〜十世紀)に、いわゆる「唐三彩」とよばれる三つの色が組み合わさった模様をもつ壺などに獅子の足をつけることが好まれ、それが奈良時代の日本に伝わったものです。一説には、足から生えている鋭い爪が邪気を払うという意味があるとされています。

このように立派な蔵骨器であり、とても丁寧に埋葬されていたことから、埋葬された人は有力な官人や高名な僧侶など、高い身分の人であつたことがうかがえます。実際に、これまでの発掘の前例を調べると、獣脚付きの器は役所(官衙施設)や寺院などの遺跡から出土する事例があります。

また本資料は、現在の岐阜県にある「美濃須衛古窯跡群」が産地であるという見方があります。奈良時代に遠方まで運ばれたものが、当時の昭島にまで運ばれてきたことを考えると、感慨深いことです。

令和七年度 四月～六月のおもな展示・イベント予定

◎企画展示「上川原町日枝神社祭礼展示」

展示期間：令和七年二月四日(火)～令和七年四月二十七日(日)  
展示内容：日枝神社の祭礼時に使用される道具を中心に展示します。

展示会場の様子① 展示会場の様子② 展示会場の様子③



◎企画展示「戦後昭島のあゆみ」

展示期間：令和七年四月二十九日(火)～令和七年七月二十七日(日)  
展示内容：昭和後半(一九四五年以降)の歴史を伝える資料を中心に展示します。

昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンスシスのホームページ  
([https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage\\_list.html](https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html)) または  
アキシマエンスシス公式X (@akishima\_ensis) へ見るのがおすすめです。

ホームページはこちら



Xはこちら



昭島市郷土資料室  
公式キャラクター  
いさなちゃん

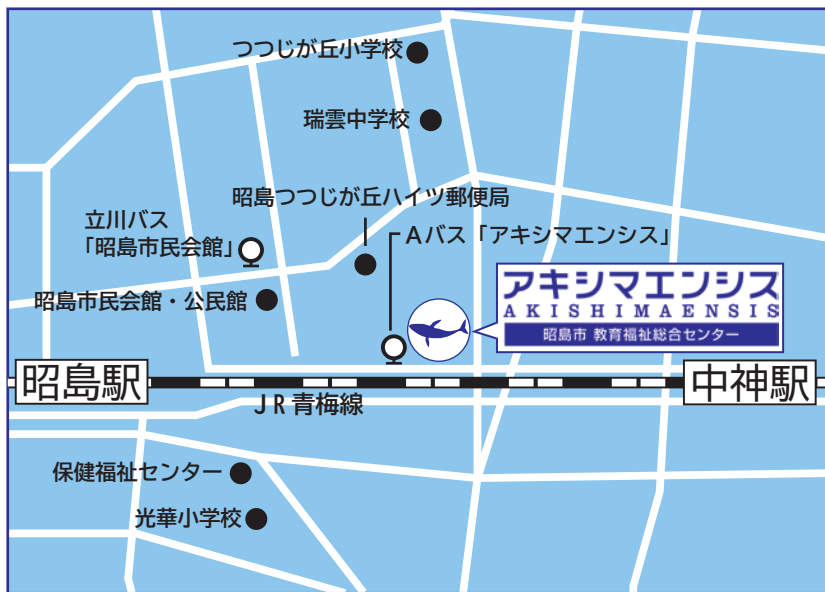
利用案内

○開室時間

昭島市郷土資料室 火曜日～金曜日  
土・日・祝日 午前10時～午後八時

○休室日

郷土資料展示室 火曜日～日曜日・祝日 午前10時～午後五時  
(見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください)  
月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間



○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩 10分

立川バス (昭22、昭23、昭23-2・昭24、昭26、拝13)  
「昭島市民会館」下車徒歩 5分

Aバス (北ルート) 「アキシマエンスシス」下車すぐ